

城端線・氷見線沿線にお住まいの皆様への 移動実態調査等へのご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から、公共交通施策の推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

城端線・氷見線につきましては、ＪＲ西日本から、ＬＲＴ化など新しい交通体系の検討を行うことについて提案があり、ＪＲ西日本と県、沿線４市が連携し、持続可能な実現方策について調査検討を進めています。

このため、このたび、検討を進める上で必要となる城端線・氷見線沿線にお住まいの方々の交通行動を沿線４市においてそれぞれ調査し、その実態を把握することとしました。

この調査は、皆様がある一日に外出されたかどうか、また、外出された場合、「いつ」「どこに」「どのような交通手段で」移動されたかや、ＬＲＴが導入された場合の利用意向などについてお聞きするものです。

本調査の実施にあたり、市内にお住まいの方から調査にご協力いただく方を無作為に抽出させていただいたところ、あなた様のご家庭が対象となりました。（調査票は３名様分入っております）。

回答内容は、統計的に処理を行うものであり、個々の内容を公表することはありません。また調査目的以外には一切使用いたしません。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、回答へのご協力をお願い申し上げます。

令和２年１０月

高岡市長 高橋 正樹
氷見市長 林 正之
砺波市長 夏野 修
南砺市長 田中 幹夫

ＬＲＴの特徴

- ・乗降が容易である（段差がなく車イスやベビーカーで乗り易い）
- ・定時性が確保される（渋滞で遅れない）
- ・快適性が高い（ゆれにくく乗り心地がよい）
- ・シンボル性が高い（まちや地域のシンボルとなる）
- ・環境負荷が少ない（走行時にCO₂を排出しない）

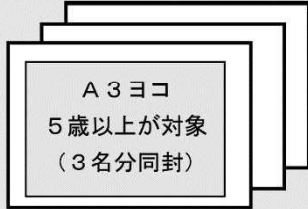


裏面もご覧ください

図 3.3 挨拶文（表）

【調査の概要】 ご家庭で任意の3名の方に回答をお願いします。

以下の2種類の調査を実施し、城端線・氷見線の新しい交通体系（LRT化など）の検討に活用します。調査は城端線・氷見線沿線の高岡市、氷見市、砺波市、南砺市の4市で実施します。

	① 移動実態調査	② 利用意向調査
		
目的	沿線の住民の皆様の移動量や交通手段の選択状況を把握するための調査です。 利便性（運行間隔や費用等）によってどのような交通手段（LRT化も想定）が選択されるか検討を行うための調査です。	城端線・氷見線をLRT化・直通化した場合の利用意向などを把握するための調査です。 LRTの特徴（快適性など）や直通化によって、どれくらいLRTが利用されるか検討を行うための調査です。
調査内容	調査日（11月5日（木））における1日の活動と移動についてお聞きするものです。 ※別紙「①移動実態調査」の記入方法及び記入例をご参照のうえ、ご回答ください。	上記の利用意向などについてお聞きするものです。
調査対象	5歳以上のお一人1枚ずつご回答ください。 ※年齢は令和2年10月1日時点に基づいてください。 ※該当者が4名以上いらっしゃる場合は、任意の3名の方が回答をお願いします。（①②はできるだけ同一の方がご回答ください） ※該当者が3名未満の場合は、その人数分の回答をお願いします	15歳以上のお一人1枚ずつご回答ください。

※この調査は城端線・氷見線のLRT化などを検討するための基礎資料とするものであり、この目的以外に使用しません。

※また、回答された内容は統計的に集計・処理しますので、個人の回答をそのまま利用することはありません。

【提出方法】 11月16日（月）までに同封する返信用封筒に入れて投函してください。

※本調査はパンフィックコンサルティング株式会社に委託して実施しています。

【問合せ先】

城端線・氷見線移動実態調査等実施本部

TEL 0120-937-946（平日10時～17時）

図 3.4 挨拶文（裏）

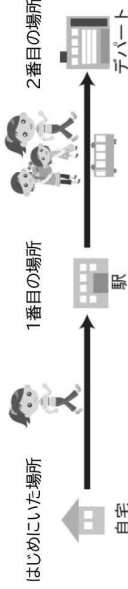
こんな場合はどのように記入するの？

Q 散歩に出かけましたが、どこにも寄らずに帰ってきました。

A 散歩やドライブのように、特定目的地がない場合は、一番遠い所を活動の場所としてご記入ください。

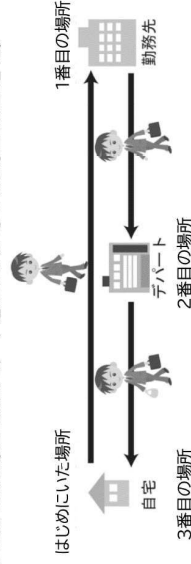
Q 娘と車で待ち合わせをしてから、デパートに行きました。

A 駅での待ち合わせを1番目の場所・活動、デパートでの買物を2番目の場所・活動としてご記入ください。



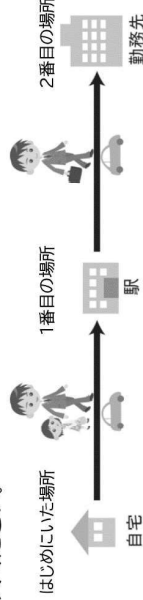
Q 会社帰りにデパートで買物をしてから家に帰りました。

A デパートでの買物を場所・活動としてご記入ください。ただし、コンビニに立ち寄った場合は、ご記入を省略して頂いて結構です。
(ある目的で行った場合は記入、不意に立ち寄った場合は省略可)



Q 通勤途中に駅まで子供を送迎しました。

A 駅までの送迎を1番目の場所・活動、勤務先での仕事を2番目の場所・活動としてご記入ください。



Q 複数箇所をまとめて記載してもよいですか。

A 以下のような場合は、複数箇所をまとめてご記入頂いて結構です。
＜複数箇所をまとめて記入する例＞
新聞や牛乳の配達、集金、セールスなどの

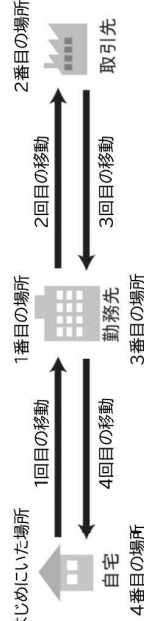
- ・同一の活動の種類で、
 - ・同一の町内（同じ郵便番号）で、
- 複数箇所に立ち寄った場合は、狭い範囲内の代表地点または主要施設を活動の場所としてまとめてご記入ください。

「①移動実態調査」の記入要領及び記入例

記入要領

①この調査票でお伺いしたいこと（5歳以上の方が対象）

○あなたの世帯の方の、ある1日の活動と移動についてお伺いします。



※ 移動は、徒歩、自転車、車、公共交通機関など全ての移動手段が対象です。
○ご本人がご記入できない場合は、代筆をお願いします。

②調査対象となる活動・移動とは

○調査対象は、調査日(11月5日(木))の午前3時～翌日の午前3時までのすべての活動・移動です。

◆次の場合は、設問 B 欄のみお答えください。

- 調査日の全ての時間帯において、富山県外にいた場合（県外で旅行中など）
- 単身社宅や入院などで自宅を離れている場合

③記入上注意していただくこと

- 散歩・ジョギングや歩いて買物に行くなど徒歩だけの活動・移動もご記入ください。
- 自宅や勤務先に戻ってすぐに出かけた場合でも、場所・活動をご記入ください。

◆以下の活動・移動は、ご記入を省略してください。

- 乗りつぎのための徒歩
- 自宅などの付近の路上での遊び、清掃など
- 同じ建物・敷地内の活動の変更・移動

◆調査日に、出張、旅行などで、富山県外の地域に行った場合

富山県外での活動・移動は、調査日の最後の出発地からの活動・移動についてご記入ください。（県外における活動・移動は省略してください。）

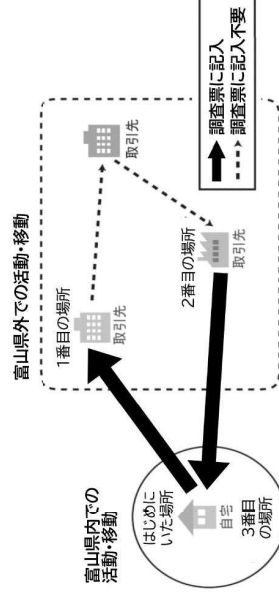
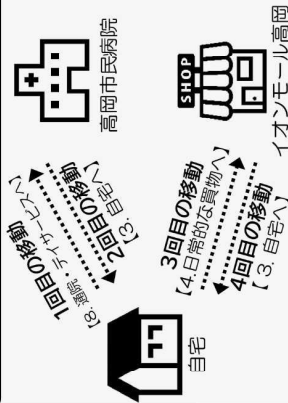


図 3.5 移動実態調査記入方法・記入例（表）

調査日当日 11月5日(木) の行動例



設問 A について

- ✓ 2 調査日当日に外出した場合は、「1. 外出した」に○を記入し、具体的な外出行動を 3 以降に記入
- ✓ 5 番目以降に行った場所と移動内容については、裏面に記入
- ✓ 調査日に全く外出しなかった場合は、「2. 外出していない」に○を記入し、裏面の B において記入してください。

場所について (番号 3 4 5 6 8 10)

- ◆ 1日のはじめにいた場所
- ✓ 調査日の午前3時時点にいた場所を記入
- ✓ 3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合」は、町名を必ず記入 (丁目・番地がわからない場合は、建物の名称や付近の有名な建物の名称を記入)
- ◆ ○番目に行った場所について
- ✓ 上記と同じ要領で記載

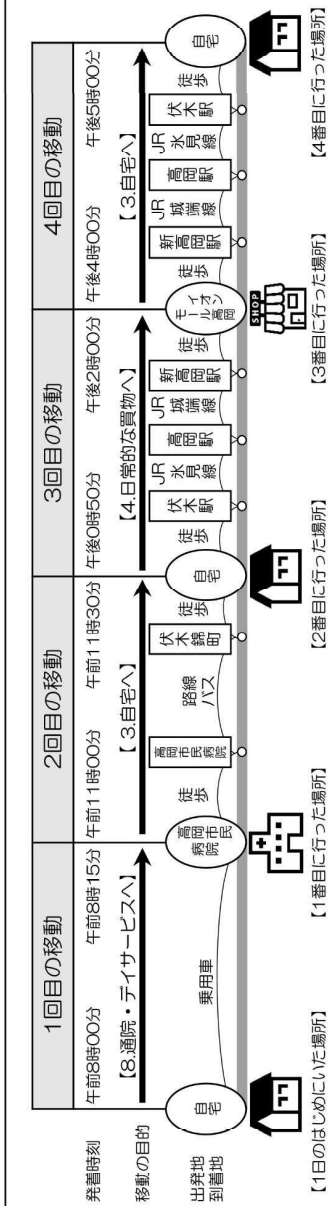
移動状況について (番号 5 7 9 11)

- a. 出発時刻と到着時刻
- ✓ おおよその出発時刻と到着時刻を記入
- b. そこに行った目的
- ✓ 表1からあてはまるもの1つ選んで番号を記入
- c. 利用した交通手段と所要時間
- ✓ いくつかの異なる交通手段を利用した場合、交通手段を乗り換えた順に表2に記す

表1からあてはまるもの1つ選んで番号を記入

- すべての番号を記入
- ✓ 所要時間は待ち時間を含めて、分単位で記入 (ただし、乗り換えのための徒歩は記入しない)
- ✓ バス・鉄道を利用した場合は、乗車・降車したバス停・駅名を記入
- d. 「c.」で自動車を利用した方
- ✓ あなたが運転した、運転していないに関わらず、あなたを含めた乗車人数を記入
- ✓ 表3からあてはまるもの1つ選んで番号を記入

記入例



A あなたの調査日の外出行動について、番号の順に従って答えください。

- 調査日当日は在宅勤務をしましたが、在宅勤務をしていない
- 調査日当日は外出しましたが、外出していない

- 1日のはじめにいた場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 1番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 2番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 3番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 4番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 5番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 6番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 7番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 8番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 9番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 10番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 11番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 12番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 13番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 14番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 15番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 16番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 17番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 18番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 19番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 20番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 21番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 22番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 23番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 24番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 25番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 26番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 27番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 28番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 29番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 30番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 31番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 32番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 33番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 34番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 35番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

- 36番目に行った場所
1. 現在所と同じ (自宅)
2. 勤務先・通学先・通院先
3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合
4. 上記1～3以外の場合

※5回目以降の移動がある場合は、調査票の裏面に記入してください。

うら面 B にも記入をお願いします。

図 3.6 移動実態調査記入方法・記入例 (裏)

秘 ①移動実態調査 調査票

注1 下に示された調査日の午前3時から翌日午前3時までについて記入してください。
注2 5歳以上(令和2年10月1日現在)の方全員(4名以上いる場合は任意の3名)が、お一人1枚ずつ記入してください。
注3 回答は、 の部分(回答欄)に記入してください。回答欄に番号がついている場合は、該当する番号に○をつけてください。
注4 うら面のBにも、必ずご記入をお願いします。
注5 記入は黒の筆記用具をお願いします。

A あなたの調査日の外出行動について、番号の順に従ってお答えください。

1 調査日当日は在宅勤務をしたか 1. 在宅勤務をした 2. 在宅勤務をしていない

2 調査日当日は外出しましたか 1. 外出した 2. 外出していない 3. B (うら面)へ

あなたの調査日

11月5日 木曜日

※城端線・水見線をご利用いただいていない方も回答をお願いします。

3 1日目のはじめにいた場所

1. 現住所と同じ(自宅)

2. 勤務先・通学先・通園先

3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合

市 市 市 市

丁目・番町または 番地

※建物名、付近の有名な建物など

()

4. 上記1～3以外の場合

市町村名: ()

4 1番目に行った場所

1. 現住所と同じ(自宅)

2. 勤務先・通学先・通園先

3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合

市 市 市 市

丁目・番町または 番地

※建物名、付近の有名な建物など

()

4. 上記1～3以外の場合

市町村名: ()

6 2番目に行った場所

1. 現住所と同じ(自宅)

2. 勤務先・通学先・通園先

3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合

市 市 市 市

丁目・番町または 番地

※建物名、付近の有名な建物など

()

4. 上記1～3以外の場合

市町村名: ()

8 3番目に行った場所

1. 現住所と同じ(自宅)

2. 勤務先・通学先・通園先

3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合

市 市 市 市

丁目・番町または 番地

※建物名、付近の有名な建物など

()

4. 上記1～3以外の場合

市町村名: ()

10 4番目に行った場所

1. 現住所と同じ(自宅)

2. 勤務先・通学先・通園先

3. 高岡市・水見市・砺波市・南砺市の場合

市 市 市 市

丁目・番町または 番地

※建物名、付近の有名な建物など

()

4. 上記1～3以外の場合

市町村名: ()

a. 出発時刻・到着時刻は

b. そこに行った目的は

c. 利用した交通手段と所要時間は

はじめに 次 に 次 に 次 に

だれが運転(または) 何人乗車(または) どこに駐車(または)

【自動車】(6～8) を利用した方は添えてください

5 3 → 4 への移動の状況

出発は 1. 午前 2. 午後 3. 分頃 4. 分頃

到着は 1. 午前 2. 午後 3. 分頃 4. 分頃

目的は 表1 から選択 ()

交通手段 所要時間 (分単位で記入) 表2 選択

約 分 約 分 約 分 約 分

運転者は 1. あなた 2. あなた以外の方

乗車人数は あなたを含む () 人

駐車場所は 表3 から選択 ()

7 4 → 6 への移動の状況

出発は 1. 午前 2. 午後 3. 分頃 4. 分頃

到着は 1. 午前 2. 午後 3. 分頃 4. 分頃

目的は 表1 から選択 ()

交通手段 所要時間 (分単位で記入) 表2 選択

約 分 約 分 約 分 約 分

運転者は 1. あなた 2. あなた以外の方

乗車人数は あなたを含む () 人

駐車場所は 表3 から選択 ()

9 6 → 8 への移動の状況

出発は 1. 午前 2. 午後 3. 分頃 4. 分頃

到着は 1. 午前 2. 午後 3. 分頃 4. 分頃

目的は 表1 から選択 ()

交通手段 所要時間 (分単位で記入) 表2 選択

約 分 約 分 約 分 約 分

運転者は 1. あなた 2. あなた以外の方

乗車人数は あなたを含む () 人

駐車場所は 表3 から選択 ()

11 8 → 10 への移動の状況

出発は 1. 午前 2. 午後 3. 分頃 4. 分頃

到着は 1. 午前 2. 午後 3. 分頃 4. 分頃

目的は 表1 から選択 ()

交通手段 所要時間 (分単位で記入) 表2 選択

約 分 約 分 約 分 約 分

運転者は 1. あなた 2. あなた以外の方

乗車人数は あなたを含む () 人

駐車場所は 表3 から選択 ()

表1 目的

【私用目的】

1. 勤務先へ (徒歩を含む)

2. 通学先へ (徒歩を含む)

3. 自宅へ

4. 日常的な買物へ (食料品・日用品など)

5. 非日常的な買物へ (家具・電化製品・衣服・贈り物など)

6. 社交・娯楽・食事へ

7. 観光・行楽・レジャー・スポーツ・

8. 通院・デパート・

9. その他(私用へ)

10. 送迎

【業務目的】

11. 販売・配達・仕入・購入先へ

12. 打合せ・会議・集金・往診へ

13. 作業・修理へ

14. 農林漁業作業へ

15. その他の業務へ

表2 交通手段

【自動車】

5. タクシー・ハイヤー

6. 乗用車

7. 貨物車(軽貨物車・ライドンを含む)

8. 自家用バス・貸切バス (送迎用含む)

9. 路線バス・コミュニティバス

10. 高速バス

11. JR城端線

12. JR水見線

13. 万葉線

14. あいの風とやま鉄道

15. 北陸新幹線

16. その他鉄道路線

17. 船舶

18. 航空機

19. その他

20. その他

表3 駐車場所

【道路外】

3. 月極有料駐車場 (買物前などで無料も含む)

4. 時間貸し有料駐車場

5. 自宅・団地に付随する車庫

6. 店舗等の有料駐車場

7. 店舗等の駐車場

8. 勤務先・訪問先の敷地内

9. 駅前広場

10. その他の空き地など

11. 駐車せず (送迎など)

【道路】

1. 路上駐車

2. パークン

3. 駅前広場

4. 店舗等の有料駐車場

5. 自宅・団地に付随する車庫

6. 店舗等の有料駐車場

7. 店舗等の駐車場

8. 勤務先・訪問先の敷地内

9. 駅前広場

10. その他の空き地など

11. 駐車せず (送迎など)

うら面 B にも記入をお願いします。

図 3.7 移動実態調査 調査票 (表)

9番目以降に行った場所がある場合は
その数をお答えください

左記を含めて () 箇所

18 8 番目に行った場所

1. 現住所と同じ（自宅）
2. 勤務先・通学先・通園先
3. 高岡市・米見市・砺波市・南砺市の場合
市 丁目、番町または 番地
※建物名、付近の有名人など
〔 〕
4. 上記1～3以外の場合
市町村名：〔 〕

16	7番目に行った場所
1.	現住所と同じ(自宅)
2.	勤務先・通学先・通園先
3.	高岡市・氷見市・砺波市・南砺市の場合 市 番地 丁目・番町または ※建物名、付近の有名な建物など 〔 〕
4.	上記1～3以外の場合 市町村名:〔 〕

14 6番目に行った場所

1. 現住所と同じ (自宅)
2. 勤労先・通学先・通園先
3. 高岡市・米沢市・砺波市・南砺市の場合
市・市町村 番地
※建物名、付近の有名な建物など
〔 〕
4. 上記 1～3以外の場合
市町村名:〔 〕

12 5番目に行った場所

1. 現住所と同じ（自宅）
2. 勤務先・通学先・通園先
3. 高岡市・米沢市・砺波市・南砺市の場合
市 [] 聖地 []
※建物名、付近有名な建物など
[]
4. 上記1～3以外の場合
市町村名：〔 〕

19	16	→	18	への移動の状況
出発は	1.午前	2.午後	時	分頃
到着は	1.午前	2.午後	時	分頃
目的は	表1	から選択	※鉄道・バスを利用した場合は乗車・降車した駅名・バス停を記入	
交通手段は	所要時間 (分単位で記入)			
表2	選択			
	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		
運転者は	1.あなた	2.あなた以外の方		
乗車人数は	あなたを含む			人
駐車場所は	表3	から選択		

17 **14** → **16** への移動の状況

	出発は、午前	2.午後	時	分頃
到着は	午前	午後	時	分頃
目的は	表1 から選択			
交通手段	① 路線バス・バスを利用した乗車 ② 乗車・降車を伴った駅名・バス停を記入			
表2 選択	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		

運転者は 1. あなた 2. あなたの以外の方

乗車人数は あなたを含み 人

駐車場所は 表3 から選択 人

15 12 → 4 への移動の状況

出発は	1.午前	2.午後	時	分頃
到着は	1.午前	2.午後	時	分頃
目的は	最1 から駅へ 駅・バス停を利用した駅舎・停車場、降車した駅名・バス停を記入			
交通手段	所要時間	分単位で記入		
表2 乗客	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		
	約	分		

運転者は 1.あなた 2.あなた以外の方
 乗車人数は あなたを含み 人
 駐車場所は 表3 から選択

13
10
→
12
への移動の状況

出発は、1.午前 2.午後 分頃 分頃

到着は、1.午前 2.午後 時 時

目的は、表1 から選択

交通手段
所要時間
(分単位で記入)
表2 から選択

約 分

約 分

約 分

約 分

約 分

約 分

※※※軌道・バスを利用し
に場合は乗車・降車し
た駅名・バス停を記入

運転者は、1.あなた 2.あなた以外の方

乗車人数は、あなたを含め1 人

駐車場所又は表3 から選択

a. 出発時刻と到着時刻は	
b. そこに行った 目的 は	
c. 利用した 交通手段 と 所要時間 は	はじめに 次 に 次 に 次 に 次 に
d. 「e」の交通手段で 【自動車】(6~8) を利用した方はお答 えください。	だれが運転 何人乗車 どこに駐車

表3 駐車場所	
駐車場	7. 店舗等の駐車場 (買物割引で無料も含む)
構内駐車場	8. 勤務先、訪問先の敷地内
付随	9. 駅前広場
その他駐車場	10. その他の空き地など

【駐車せず】	
11. 駐車場をずす (送りなど)	

15. 北陸新幹線	【その他】	1. 路上駐車	【道路上】	1. 極めて有利な車庫	【道路外】
16. その他鉄軌道	2. 車いす等	2. パークイング	2. 自転車	3. 時間貸し有する車庫	3. 時間貸し有する車庫
17. 船舶	20. その他	3. 航空機	3. 自転車	4. 自宅・団地化する車庫	4. 自宅・団地化する車庫
18. 航空機			4. メーター	5. 店舗等の有する車庫	5. 店舗等の有する車庫

表2 交通手段	
【自動車】	5. タクシー、ハイヤー
	6. 乗用車
	7. 貨物車(軽貨物車・ ライオンを含む)
	8. 自家用バス・貸貸バス (送迎用含む)
	9. 路線バス
	10. 高速バス
	11. JR城端線
	12. JR有線
【公共交通】	13. 万葉線
	14. あいの風しやま鉄道

【業務目的】

1. レジャーユーザーへサービスへ用へる(など)

11. 販売・配達・仕入・購入先へ
12. 打ち合せ・会議・集金・仕診へ
13. 作業・修理へ
14. 農林漁業作業へ
15. その他の業務へ

1. 徒歩
2. 自転車
3. 自転車
4. 自動車
5. 原動機
(50cc)
(50cc)

表1 目的	
【私用目的】	
4. 日常的な買物へ (食料品、日用品など)	7. 観光行業業 ・スポーツ観戦 (観客など)
5. 非日常的な買物へ (娯楽、電化製品、 衣服、贈り物など)	8. 通院・デイサービス その他(習い事、 介護など)
6. 社交・娯楽・食事へ	9. 送迎

B あなたご自身についてお答えください。

表4 職業の分類

【職業をお持ちの方】	
1.会社員・公務員(団体職員・パート・アルバイト(学生除く))	
2.自営業・農林漁業	
【職業をお持ちでない方】	
3.生徒・児童・園児(中学生以下)	
4.学生(高校生)	
5.学生(短大、大学、大学院生)	
6.主婦、主夫	
7.無職	

④ 職業	右の表4から選択 (1つ)	⑦ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
⑤ 通勤・通学 ⑥ 保有運転免許 ⑦ 自由に使える自動車	番地 または 番町	⑧ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
⑨ 通勤・通学 ⑩ 保有運転免許 ⑪ 自由に使える自動車	番地 または 番町	⑫ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
⑬ 通勤・通学 ⑭ 保有運転免許 ⑮ 自由に使える自動車	番地 または 番町	⑯ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
⑰ 通勤・通学 ⑱ 保有運転免許 ⑲ 自由に使える自動車	番地 または 番町	⑳ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
㉑ 通勤・通学 ㉒ 保有運転免許 ㉓ 自由に使える自動車	番地 または 番町	㉔ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
㉕ 通勤・通学 ㉖ 保有運転免許 ㉗ 自由に使える自動車	番地 または 番町	㉘ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
㉙ 通勤・通学 ㉚ 保有運転免許 ㉛ 自由に使える自動車	番地 または 番町	㉜ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
㉝ 通勤・通学 ㉞ 保有運転免許 ㉟ 自由に使える自動車	番地 または 番町	㊱ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
㊲ 通勤・通学 ㊳ 保有運転免許 ㊴ 自由に使える自動車	番地 または 番町	㊵ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
㊶ 通勤・通学 ㊷ 保有運転免許 ㊸ 自由に使える自動車	番地 または 番町	㊹ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
㊺ 通勤・通学 ㊻ 保有運転免許 ㊼ 自由に使える自動車	番地 または 番町	㊽ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)
㊾ 通勤・通学 ㊿ 保有運転免許 ㊽ 自由に使える自動車	番地 または 番町	㊿ 自由に使える自動車 二輪車を除いて、該当する番号に○をつけてください。(1つ)

③ 現在の住所	市	丁目・
通園先の所在地 （まよっている方）	保有していない場合	
住所以外なら、「2. に○」をつけその住所を記入してください。	1. 大型	2. 自動
番地	1. 大型	2. 自動
丁目・番町または	3. 原動	4. 持っ
通学・通園先の名称・建物などを記入してください。	5. 持っ	

① 性別	② 年齢	令和2年10月1日現在の年齢を記入してください。
1. 男	2. 女	

⑤ 勤務先・通学先
 「職業をお持ちの方、」通学している方、「幼稚園や保育園に通学（通勤先）」通学先、「通園先」が、現在所と同じなら「1.に○」、現

1. 現在所と同じ	市・町・村
2. 現在所以外	※詳しい住所が分らない場合→勤務先

※右に記入してください。

⑧ 備考
 最寄りの城端線・米見線の駅名を記入してください。

駅名：{ }

①移動実態調査は以上です。次に、②城端線・氷見線の利用意向調査にもご回答ください。

図 3.8 移動実態調査票調査票(裏)

②城端線・氷見線の利用意向調査（LRT が導入された場合）

※ご家族の中で 15 歳以上の方がご回答ください

問1 あなたご自身についてお答えください。

①性別（いずれか1つに○）	1 男性 2 女性
②年齢	令和2年10月1日現在の年齢を記入してください（ ）歳

問2 ご自宅から城端線・氷見線沿線地域※へ出かける場合についてお答えください。

※高岡市・氷見市・砺波市・南砺市の中心部や各駅周辺施設等を目的地とする場合（徒歩のみで目的地に出かける場合は除きます）

①最もよく出かける目的 （いずれか1つに○）	1 通勤 2 通学 3 私用（買物、社交・娯楽・食事、通院など） 4 業務（販売、打合せ、作業など）
②その目的で出かける頻度 （いずれか1つに○）	1 週に5日以上 2 週に3,4日 3 週に1,2日 4 月に2,3日 5 月に1日 6 年に数回以下
③その時の移動手段 （あてはまるものをすべてに○）	1 鉄道（JR城端線・氷見線） 2 鉄軌道（万葉線） 3 バス 4 自動車（自分で運転） 5 自動車（送迎・同乗） 6 バイク（原付含む） 7 自転車 8 その他（ ）
④その時の行き先の住所又は 具体的な施設名 （いずれかの市に1つ○を記入した うえで住所を記入）	行き先の住所⇒⇒ 高岡・氷見・砺波・南砺市（ ）町（ ）丁目 具体的な施設名⇒⇒（ ）

問3 ここからは、城端線・氷見線に< L R T >が導入された場合の利用意向についてお伺いします。

まず、L R T の特徴についてご説明します。

L R T ※の特徴

※Light Rail Transit の略

- ・乗降が容易である(段差がなく車イスやベビーカーで乗り易い)
- ・定時性が確保される(渋滞で遅れない)
- ・快適性が高い(ゆれにくく乗り心地がよい)
- ・シンボル性が高い(まちや地域のシンボルとなる)
- ・環境負荷が少ない(走行時にCO2を排出しない)

富山ライトレール



フランス・ストラスブール



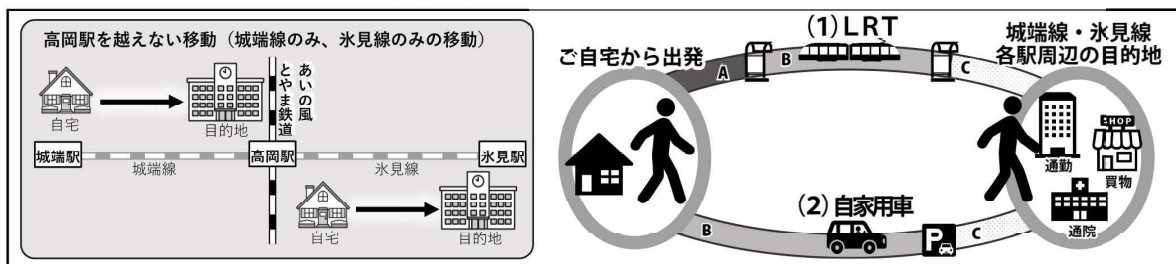
① 城端線・氷見線にL R T が導入された場合、利用したいと思いますか。（いずれか1つに○）

- 1 利用したいと思う 2 利用したいとは思わない 3 わからない

② 「高岡駅を越えない移動（城端線のみ、氷見線のみ移動）」についてお伺いします。

あなたは以下の交通手段（L R T、自家用車）を、各ケースの所要時間・運行間隔・費用の条件でそれぞれ利用できるものとします。

この時、あなたはどちらの交通手段を利用しますか。下表のケース1～5それぞれの回答欄の(1)・(2)から1つに○をつけてください。



	(1) LRT					(2) 自家用車				回答欄	
	所要時間			運行 間隔	費用 (運賃)	所要時間			費用 (ガソリン代、 駐車場代等)		
	A.自宅 ⇒停留所	B.乗車 時間	C.停留所 ⇒目的地			計	B.乗車 時間	C.駐車場 ⇒目的地			計
ケース1	5分	40分	5分	50分	60分	300円	35分	5分	40分	300円	(1) LRT (2)自家用車
ケース2		20分		30分	30分	300円					(1) LRT (2)自家用車
ケース3		40分		50分	15分	400円					(1) LRT (2)自家用車
ケース4		30分		40分	60分	200円					(1) LRT (2)自家用車
ケース5		20分		30分	15分	200円					(1) LRT (2)自家用車

ケース1～5
それぞれにつ
いて、(1)・(2)
のいずれか1
つに○をつけ
てください。

※ケース1～5の値（所要時間・運行間隔・費用）は、需要調査のために設定した仮定値です。

うら面にも回答をお願いします。

図 3.9 利用意向調査 調査票 Aパターン（表）

②城端線・氷見線の利用意向調査（LRT が導入された場合）

B

※ご家族の中で 15 歳以上の方がご回答ください

問 1 あなたご自身についてお答えください。

①性別（いずれか 1 つに○）	1 男性 2 女性
②年齢	令和 2 年 10 月 1 日現在の年齢を記入してください（ ）歳

問 2 ご自宅から城端線・氷見線沿線地域[※]へ出かける場合についてお答えください。

※高岡市・氷見市・砺波市・南砺市の中心部や各駅周辺施設等を目的地とする場合（徒歩のみで目的地に出かける場合は除きます）

①最もよく出かける目的 （いずれか 1 つに○）	1 通勤 2 通学 3 私用（買物、社交・娯楽・食事、通院など） 4 業務（販売、打合せ、作業など）
②その目的で出かける頻度 （いずれか 1 つに○）	1 週に 5 日以上 2 週に 3,4 日 3 週に 1,2 日 4 月に 2,3 日 5 月に 1 日 6 年に数回以下
③その時の移動手段 （あてはまるものをすべてに○）	1 鉄道（JR 城端線・氷見線） 2 鉄軌道（万葉線） 3 バス 4 自動車（自分で運転） 5 自動車（送迎・同乗） 6 バイク（原付含む） 7 自転車 8 その他（ ）
④その時の行き先の住所又は 具体的な施設名 （いずれかの市に 1 つ○を記入した うえで住所を記入）	行き先の住所⇒⇒ 高岡・氷見・砺波・南砺市（ ）町（ ）丁目 具体的な施設名⇒⇒（ ）

問 3 ここからは、城端線・氷見線に^{ユルアールティー}＜L R T＞が導入された場合の利用意向についてお伺いします。

まず、L R T の特徴についてご説明します。

L R T[※]の特徴

※Light Rail Transit の略

- ・乗降が容易である(段差がなく車イスやベビーカーで乗り易い)
- ・定時性が確保される(渋滞で遅れない)
- ・快適性が高い(ゆれにくく乗り心地がよい)
- ・シンボル性が高い(まちや地域のシンボルとなる)
- ・環境負荷が少ない(走行時に CO2 を排出しない)

富山ライトレール



フランス・ストラスブール



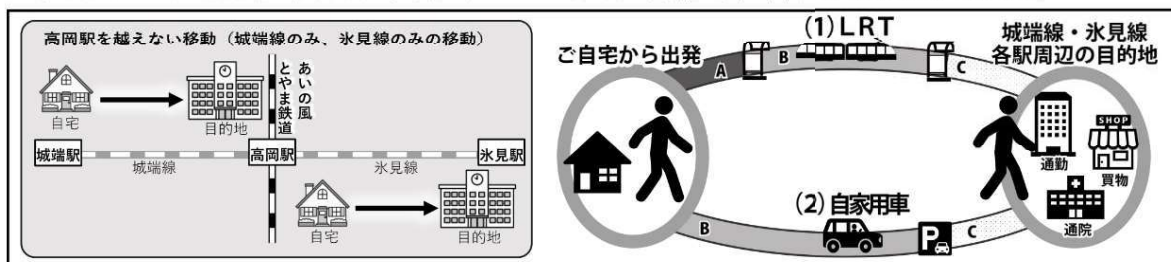
① 城端線・氷見線に L R T が導入された場合、利用したいと思いますか。（いずれか 1 つに○）

- 1 利用したいと思う 2 利用したいとは思わない 3 わからない

② 「高岡駅を越えない移動（城端線のみ、氷見線のみ移動）」についてお伺いします。

あなたは以下の交通手段（L R T、自家用車）を、各ケースの所要時間・運行間隔・費用の条件でそれぞれ利用できるものとします。

この時、あなたはどちらの交通手段を利用しますか。下表のケース 1～5 それぞれの回答欄の(1)・(2)から 1 つに○をつけてください。



	(1) LRT					(2) 自家用車				回答欄	
	所要時間			運行 間隔	費用 (運賃)	所要時間		費用 (ガソリン代、 駐車場代等)			
	A.自宅 ⇒停留所	B.乗車 時間	C.停留所 ⇒目的地			計	B.乗車 時間		C.駐車場 ⇒目的地		計
ケース1	5分	30分	5分	40分	30分	400円	35分	5分	40分	300円	(1) LRT (2) 自家用車
ケース2		40分		50分	30分	200円					(1) LRT (2) 自家用車
ケース3		20分		30分	60分	400円					(1) LRT (2) 自家用車
ケース4		30分		40分	15分	300円					(1) LRT (2) 自家用車
ケース5		20分		30分	15分	200円					(1) LRT (2) 自家用車

※ケース 1～5 の値（所要時間・運行間隔・費用）は、需要調査のために設定した仮定値です。

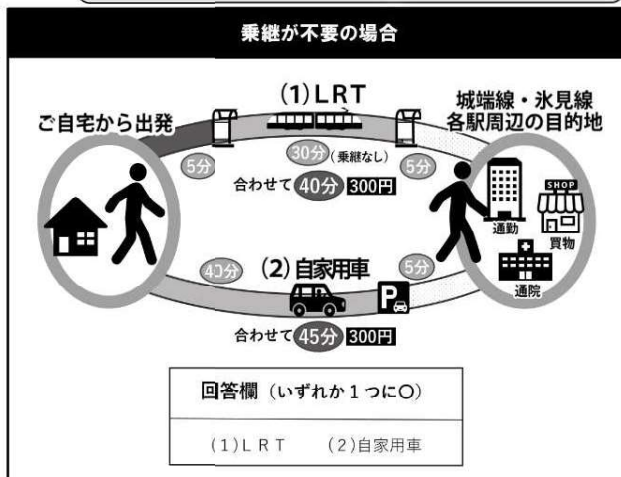
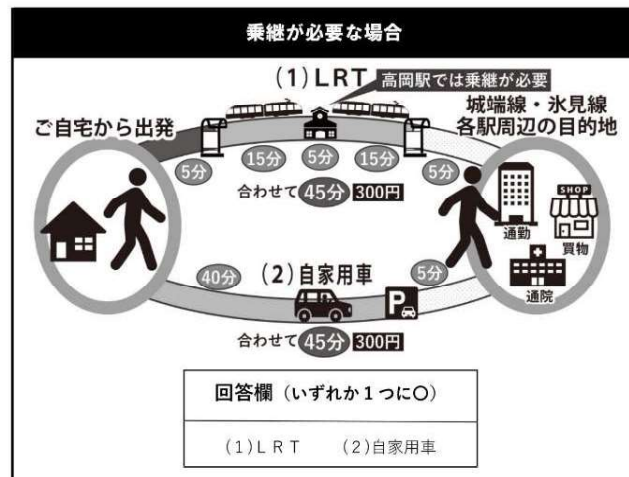
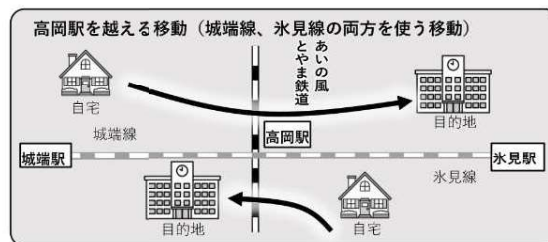
ケース 1～5
それぞれにつ
いて、(1)・(2)
のいずれか 1
つに○をつけ
てください。

うら面にも回答をお願いします。

図 3.10 利用意向調査 調査票 B パターン（表）

③ 「高岡駅を越える移動（城端線、氷見線の両方を使う移動）」についてお伺いします。

以下の乗継が必要な場合、乗継が不要の場合、あなたは、どちらの交通手段を利用しますか。それぞれの回答欄に示す交通手段（LRT、自家用車）のうち、いずれか1つに○をつけてください。



※各ケースの値（所要時間・費用）及び条件は、需要調査のために設定した仮定値です。

④ 城端線・氷見線にLRTが導入された場合、私用目的（買物、社交・娯楽・食事、通院など）の外出頻度が増加すると思いますか。（いずれか1つに○）

1 増加すると思う ⇒⑤にお進みください 2 増加しないと思う ⇒問4にお進みください 3 わからない ⇒問4にお進みください

⑤ どのくらい増加すると思いますか（いずれか1つに○）

1 週に5日以上 2 週に3,4日 3 週に1,2日 4 月に2,3日 5 月に1日 6 年に数回以下

問4 新型コロナウイルスによる外出への影響についてお伺いします。

① 新型コロナウイルスの影響により、問2①の目的における外出頻度は減少しましたか。（いずれか1つに○）

1 減少した ⇒②にお進みください 2 減少したが、元に戻った ⇒③にお進みください 3 減少していない ⇒③にお進みください

② 問2①の目的における外出頻度はどのくらい減少しましたか。（いずれか1つに○）

1 週に5日以上 2 週に3,4日 3 週に1,2日 4 月に2,3日 5 月に1日 6 年に数回以下

③ 新型コロナウイルスの影響により、問2①の目的における外出の交通手段の変更はありましたか。（いずれか1つに○）

1 変更があった ⇒④にお進みください 2 変更があったが、元に戻った ⇒問5にお進みください 3 変更はなかった ⇒問5にお進みください

④ 交通手段を変更した移動について、「変更前の交通手段」、「変更後の交通手段」をお答えください。

（変更前・変更後それぞれについて、あてはまるものすべてに○をしてください。）

変更前の交通手段	変更後の交通手段
1 鉄道（JR城端線・氷見線）	1 鉄道（JR城端線・氷見線）
2 鉄軌道（JR城端線・氷見線以外）	2 鉄軌道（JR城端線・氷見線以外）
3 バス	3 バス
4 タクシー	4 タクシー
5 自動車（自分で運転）	5 自動車（自分で運転）
6 自動車（送迎・同乗）	6 自動車（送迎・同乗）
7 バイク（原付含む）	7 バイク（原付含む）
8 自転車	8 自転車
9 徒歩	9 徒歩
10 その他 ご記入ください ()	10 その他 ご記入ください ()

問5 城端線・氷見線の今後のあり方に対するご意見等があればご自由にご記入ください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

図 3.11 利用意向調査 調査票（裏）

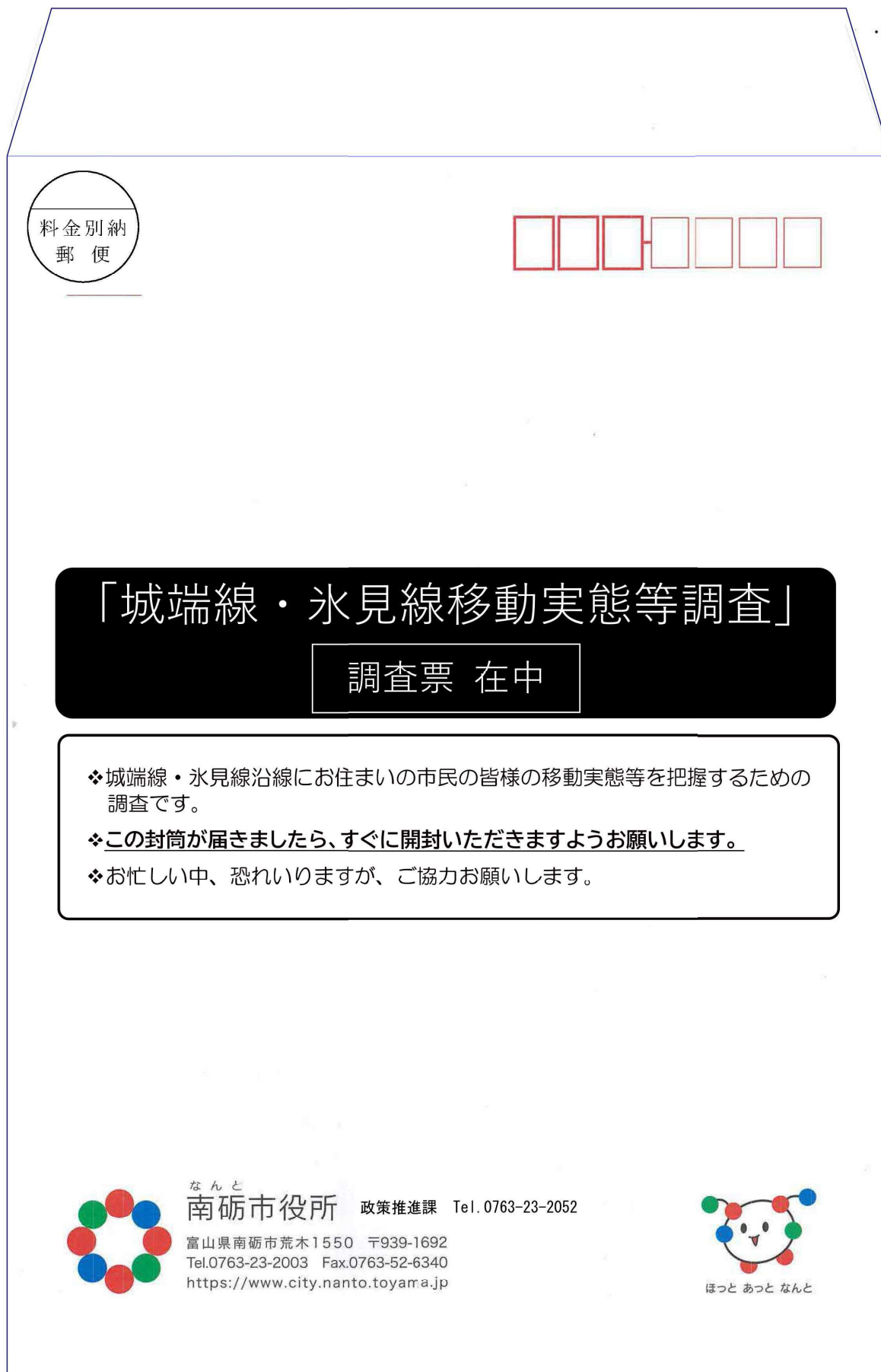


図 3.12 配布用封筒イメージ（南砺市）

料金受取人払郵便

富山商局
承認
6468

差出有効期間
令和3年
3月31日まで
(切手不要)

返送用封筒

記入された調査票をこの封筒に入れて、令和2年11月16日(月)までに
最寄りの郵便ポストに投函してください。

9 3 9 8 7 9 0

富山市丸の内1丁目8番10号

パシフィックコンサルタンツ株式会社 富山事務所

「城端線・氷見線移動実態等調査」担当 行



図 3.13 回収用封筒

【参考】利用意向調査におけるサービスレベルの設定について

(1) 設定する因子・水準とそのパターン

- 自動車のサービスレベルは、1 パターンに固定する
- L R T のサービスレベルは、3 因子それぞれ 3 水準設定する

1) 自動車

以下の 1 パターンに固定する。

所要時間(分)	費用 (円)
40	300

2) L R T

以下の 3 因子それぞれ 3 水準設定、27 パターンとなる。

水準	因子		
	所要時間(分)	運行間隔 (分)	費用 (円)
1	30	15	200
2	40	30	300
3	50	60	400

パターン	所要時間	運行間隔	料金
1	所要時間30分	15分間隔	200円
2			300円
3			400円
4		30分間隔	200円
5			300円
6			400円
7		60分間隔	200円
8			300円
9			400円
10	所要時間40分	15分間隔	200円
11			300円
12			400円
13		30分間隔	200円
14			300円
15			400円
16		60分間隔	200円
17			300円
18			400円
19	所要時間50分	15分間隔	200円
20			300円
21			400円
22		30分間隔	200円
23			300円
24			400円
25		60分間隔	200円
26			300円
27			400円

(2) 実験計画法による調査ケースの絞り込み

- 実験計画法により、調査ケースの絞り込みを行う。
- 実験計画法として、3水準の場合に一般的なL9直交表を用いて、9ケースに絞り込みを行った。

L9直交表

実験番号	因子列			
	A	B	C	D
1	A1	B1	C1	D1
2	A1	B2	C2	D2
3	A1	B3	C3	D3
4	A2	B1	C2	D3
5	A2	B2	C3	D1
6	A2	B3	C1	D2
7	A3	B1	C3	D2
8	A3	B2	C1	D3
9	A3	B3	C2	D1



今回の条件に当てはめると、下表の通りとなる。

表 本調査で設定する設問ケース

列番号	所要時間	運行間隔	費用
ケース1	30分	15分	200円
ケース2	30分	30分	300円
ケース3	30分	60分	400円
ケース4	40分	15分	300円
ケース5	40分	30分	400円
ケース6	40分	60分	200円
ケース7	50分	15分	400円
ケース8	50分	30分	200円
ケース9	50分	60分	300円

(3) 調査票への反映

- 2) で設定したケースをそのまま設問とすると、設問数が9となり、被験者の負担が大きくなるため、1被験者当たり5問として、2種類の調査票を作成することとした。
- その場合、1問余裕が生じるため、自動車利用が多数と想定される現状も踏まえて、L R Tのサービス水準が最も高くなるケース1は、両調査票で設定する。
- 設問は、慣れや先入観を排除するため無作為な順番で行うべきとされていることから、両調査票への割付・設問の順番はランダムに設定した。

	所要時間	運行間隔	費用	調査票パターン	
				A	B
ケース1	30分	15分	200円	5	5
ケース2	30分	30分	300円	2	
ケース3	30分	60分	400円		3
ケース4	40分	15分	300円		4
ケース5	40分	30分	400円		1
ケース6	40分	60分	200円	4	
ケース7	50分	15分	400円	3	
ケース8	50分	30分	200円		2
ケース9	50分	60分	300円	1	

ランダムな割付・順番で、2つの調査票を設定



調査票パターンA			
ケース	所要時間	運行間隔	費用
設問 1	50分	60分	300円
設問 2	30分	30分	300円
設問 3	50分	15分	400円
設問 4	40分	60分	200円
設問 5	30分	15分	200円

調査票パターンB

ケース	所要時間	運行間隔	費用
設問 1	40分	30分	400円
設問 2	50分	30分	200円
設問 3	30分	60分	400円
設問 4	40分	15分	300円
設問 5	30分	15分	200円

3.2 データの処理

3.2.1 調査票の回収状況

調査票の回収世帯数、回収率、各調査の有効回答票数を下表に示す。

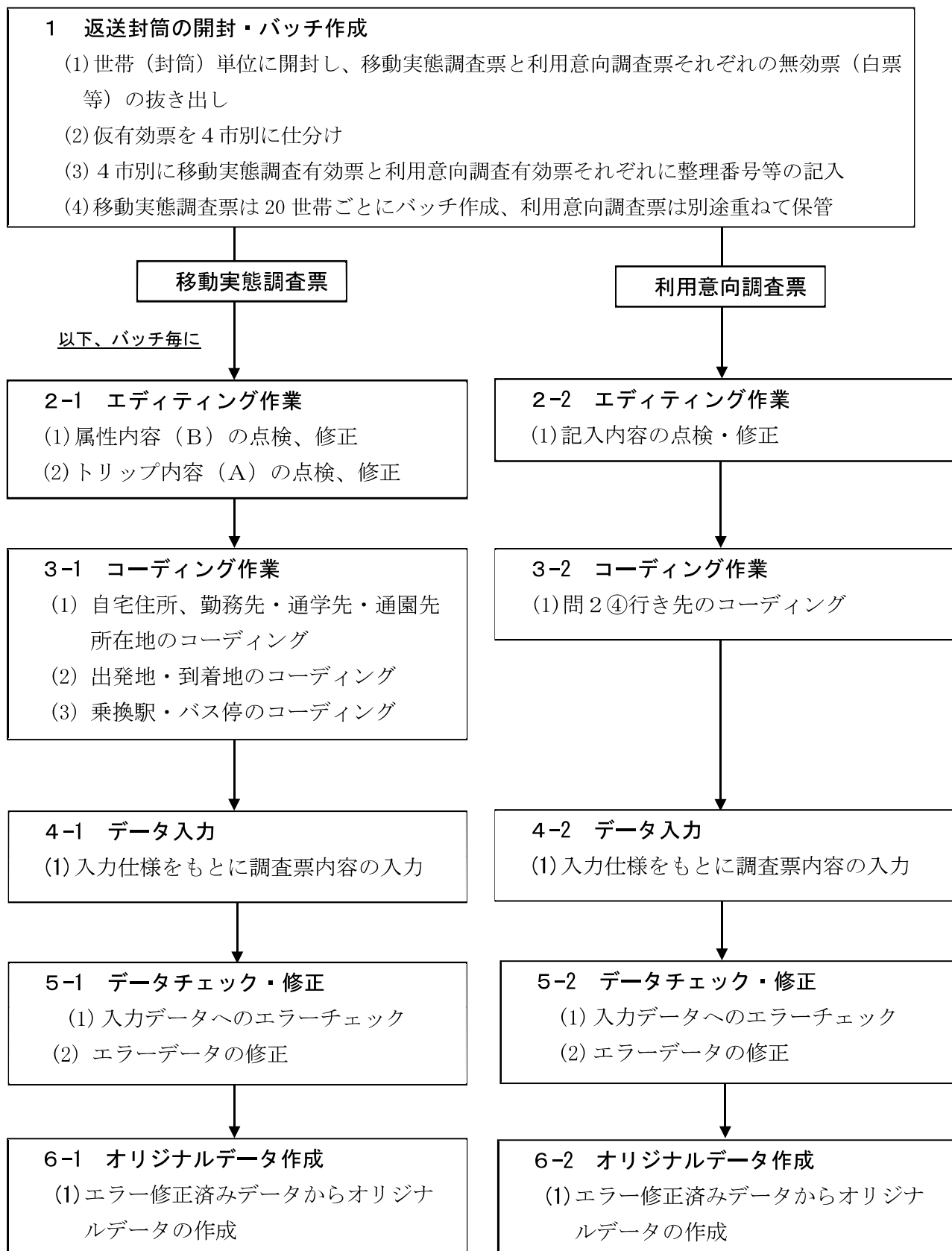
世帯ベースでは目標回収数（4,500 世帯）に達したが、有効回答票数は目標（11,500 票）に達しなかったため、以降の分析において補正等を行うことを含めて検討した。

表 3.7 必要配布数・住民基本台帳抽出数・発送数・回収数・有効回答数

	配布世帯数	回収 世帯数	回収率	有効回答票数	
				移動実態調査	利用意向調査
氷見市	1,650	447	27.1%	943	891
高岡市	9,020	2,444	27.1%	4,928	4,562
砺波市	2,130	735	34.5%	1,580	1,465
南砺市	2,200	789	35.9%	1,792	1,714
※市不明	－	221	－	－	－
計	15,000	4,636	30.9%	9,243	8,632

3.2.2 オリジナルデータの作成

返送された移動実態調査、利用意向調査について、以下のような手順で「返送封筒の開封・バッチ作成」、「エディティング（点検、修正）」、「コーディング（町丁目・ゾーンコード、駅・バス停コード番号の付与）」、「データ入力」、「データチェック・修正」を行い、オリジナルデータを作成した。



3.2.3 移動実態調査の拡大処理

移動量を把握するための移動実態調査については、人口に応じた拡大処理を行う。

(1) 抽出率の整理

拡大係数を設定する上での基礎資料となる、性別年齢別の「人口当たり抽出率（サンプル数／人口）」を整理した。

移動実態調査の有効回答数 9,243 票に対して、母集団である沿線地域人口（5 歳以上）は約 21.0 万人であるため、全体の抽出率は約 4.4%である。

年齢階層別に見ると、男女ともに若年層が低く、高齢層は高い傾向にある。

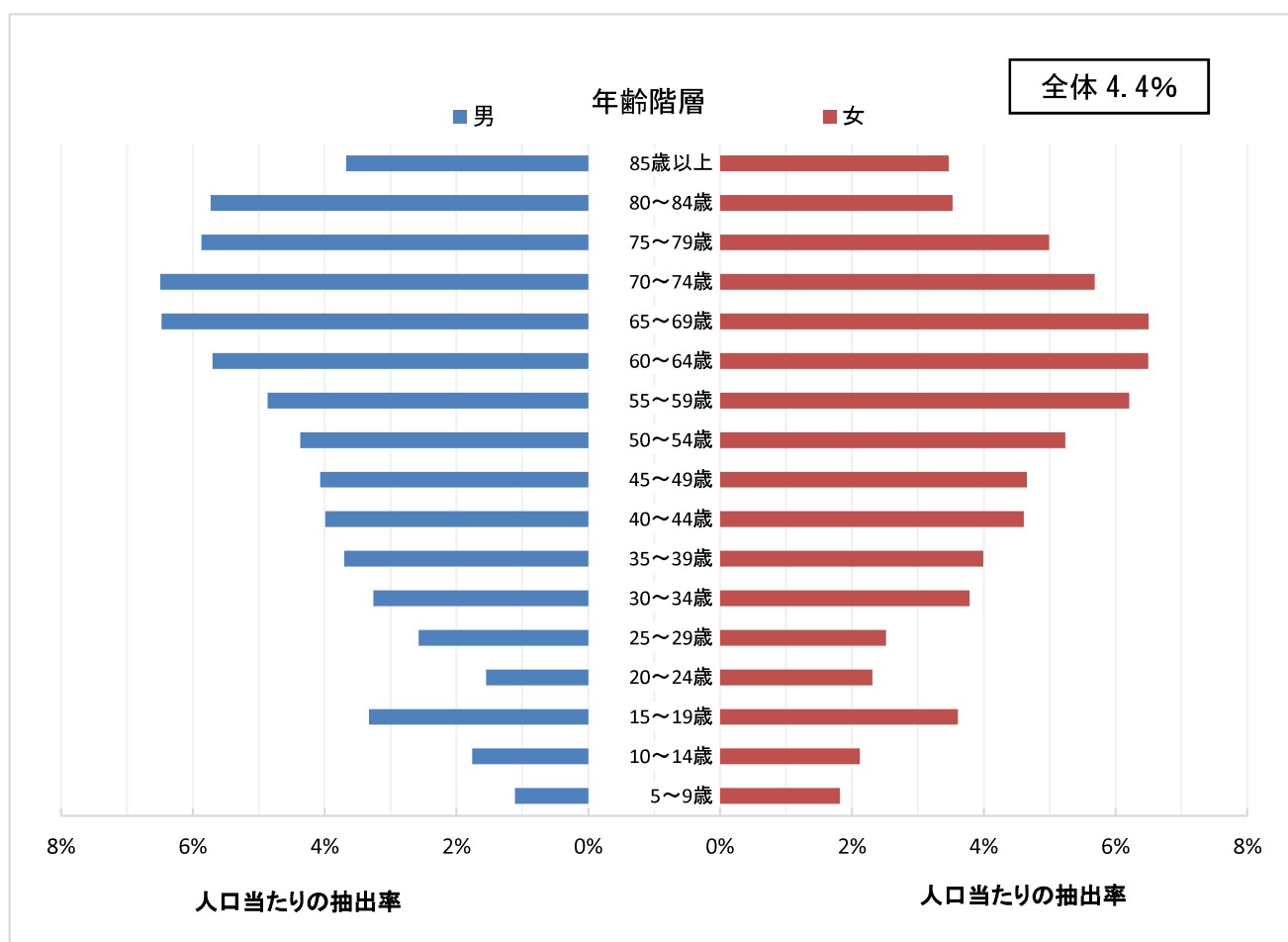


図 3.14 性別年齢階層別の人口当たり抽出率

(2) 拡大係数の設定

拡大処理を行うに当たり、抽出率の逆数として「拡大係数（人口／サンプル数）」を設定する。

拡大係数は以下のように設定した。

- ・ 解析ゾーン単位（9ゾーン）を基本とする。
- ・ 年齢層によって、「抽出率に差がある（高齢層が高い）」かつ「移動特性（目的、利用交通手段）が異なる」場合、カテゴリー設定を行う。

※性別については、本調査では鉄道利用トリップを捉えることに主眼を置いており、若年層を中心にカテゴリーごとのサンプル数が少なくなることから設定しない。

表 3.8 拡大処理で設定した年齢階層のカテゴリー

年齢層	定義	移動特性	
		主な目的	主な利用交通手段
75 歳以上	後期高齢者	私用	公共交通（高齢で自動車の運転に支障が生じる可能性が高い）
65～74 歳	前期高齢者	私用	自動車
25～64 歳	勤労世代	通勤	自動車
15～24 歳	主に高校・大学生	通学	公共交通（通学圏域が広く、学生のため自動車を利用できない可能性が高い）
5～14 歳	小学生・中学生	通学	徒歩・自転車（近距離の通学が大多数と見込まれる）

(3) 拡大係数の設定結果

拡大係数の設定結果を以下に示す。

人口が少ないゾーンを中心に、拡大係数が大きいカテゴリーも一部存在するが、概ね全体抽出率4.4%の逆数となる20～25程度が多くなっている。

この数値に基づき、移動実態調査の拡大処理を行った。

表 3.9 拡大係数（人口/サンプル数）

ゾーン	氷見市	高岡市					砺波市	南砺市		平均
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
5～14歳	72	63	58	41	108	76	46	98	58	69
15～24歳	56	29	44	40	175	35	29	34	24	52
25～64歳	24	21	25	24	37	21	18	21	18	23
65～74歳	15	14	18	17	20	16	14	14	13	16
75歳以上	35	23	26	24	34	21	24	15	14	24
平均	41	30	34	29	75	34	26	37	25	37

表 3.10 人口（2020年9月末時点）

ゾーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
5～14歳	1,734	815	3,508	2,136	1,083	1,528	3,102	1,179	1,684	16,769
15～24歳	2,189	1,026	4,324	2,757	1,051	1,800	3,540	1,237	1,692	19,616
25～64歳	10,890	5,320	22,975	15,153	5,828	9,498	16,230	6,891	9,804	102,588
65～74歳	3,494	2,323	7,301	4,963	1,675	3,394	4,437	2,004	3,582	33,174
75歳以上	6,915	2,887	7,816	5,898	1,803	3,358	4,354	1,721	2,979	37,731
計	25,221	12,371	45,924	30,907	11,440	19,578	31,663	13,032	19,741	209,878

表 3.11 移動実態調査サンプル数（住所ゾーンが判別可能な分）

ゾーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
5～14歳	24	13	60	52	10	20	68	12	29	288
15～24歳	39	36	99	69	6	52	122	36	70	529
25～64歳	455	253	917	636	156	442	889	329	536	4,613
65～74歳	227	170	412	285	83	213	310	143	284	2,127
75歳以上	195	124	303	245	53	158	185	115	213	1,591
計	940	596	1,791	1,287	308	885	1,574	635	1,132	9,148